



# 俺と犬とカレ ンダー

---

---

book-fukunokami

---

## 俺と犬とカレンダー

---

「俺もカレンダーを見るんだ」

俺は犬に向かって叫んだ。

そう、いつもの、黒い犬だった犬だ。

今は何色か、秘密だ。

「カレンダーか？」

しゃべる犬がしゃべった。

ショベル犬ではない、シャベル犬だ。

「おい、おい、わん、わん、俺をショベル犬だと思わなかったか、わん？」

「いいや」

俺は犬に嘘をついた。

「カレンダーか、わん？」

俺は犬がかれんになるかと思いきういった。

「そうだ、カレンダー」

ボン、音がして、犬がかれんになった。

そういえば、かれんは漢字で可憐だろうか、花蓮だろうか、華蓮だろうか、俺はしらべる気ゼロだ。

まあ、とにかく今の犬の状態がかれんなのだろう。

俺は一人で満足したのであった。